

月刊

税理士事務所

CHANNEL

●監修●
ミロク会計人会連合会

2012.8

No.372

8

ま る ご と 近 畿 会

- 連合会 INFORMATION ●
「第37回全国統一研修会・東京大会」
平川会長挨拶……………2
記念旅行のご案内……………3
- 事務所訪問 ●
蘆田総合会計事務所……………4
- 地元の元気企業 ●
(株)高津商会……………7
- MJSサービスを活用した事務所経営 ●
立花税理士事務所……………8
- 我が事務所の顧問先紹介 ●
三木楽器(株)……………10
- ご当地自慢 ●
大阪府大阪市……………12
- ミロクシステム Q&A ●
『ACELINK NX-Pro会計大将
(よくあるお問い合わせ)』……………15
- リレーエッセイ ● 近畿ミロク会計人会
糀田 靖子……………19

★次号は“まるごと東京会”です。



撮影：池原 保三 場所：箱館山（滋賀県高島市）

第37回全国統一研修会・東京大会開催挨拶



ミロク会計人会連合会会長

平川 忠雄

平成24年度の全国統一研修会のご案内を申し上げます。

ミロク会計人会連合会主催・東京ミロク会計人会担当による「第37回全国統一研修会・東京大会」が、来る平成24年11月8日(木)に開催されます。

本大会は年1回開催され、専門的な情報交換を兼ねて会員先生方やそのご家族の親睦を深め、連帯感を高揚することを目的としています。また、開催地独特の文化などを感じる事ができる機会として好評を博しております。なお、本大会は全国各地域のミロク会計人会の単位会が担当し、昨年の京都大会の後の開催と

なります。

昨年の東日本大震災から1年以上が経過しましたが、被災地は依然として厳しい状況にあります。会員の先生方、顧問先の企業のなかにも直接的な被害を受けられた方がいらっしゃるかと思います。そして、震災の影響だけにとどまらず、今の日本は政治、経済ともに混迷をきわめております。こうした厳しい時代だからこそ、われわれ会員一同が一致団結して、日本の復興を考え、行動しなければならぬのではないのでしょうか。

税制面に関して申し上げますと、社会保障との一体改革において「消費税率引上げ」が決定いたしました。

平成26年4月1日の施行日より8%、平成27年10月1日より10%となりますが、それぞれ6カ月前の平成25年10月1日の指定日から実務上の対応が始まり多くの企業などは平成25年初めから実務対応が始まります。中堅・中小企業も即時対応が必要となります。合わせて引上げ時等を通じて中小に不利な税制の改正が必要といえます。たとえば、事前届

出制度の抜本的見直し等、多数の改革が必要な項目があります。私たちが職業会計人は中小企業経営の存続のための税制を確立する努力をしていく義務があるといえます。会員の皆様におかれまして、今回の統一研修会で多様な知識やノウハウを蓄えていただきたいと思います。

今回の東京大会は伝統あるホテルニューオータニで開催いたします。基調講演には『国家の品格』などを執筆されたお茶の水女子大学名誉教授・藤原正彦氏をお招きし、「日本のこれから」というテーマでご講演いただきます。日本がどうなっていくのか、そして日本人としてどのように「今」と向き合うべきなのかをご教授いただきたいと思います。

続く第1分科会は「プロジェクトM」近未来の事務所業務はこう変わる」というテーマで、会計事務所のIT化について東京会研修委員会&MJSが担当して紹介いたします。第2分科会では「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」を授与された株式会社日本レジャー代表取締役・近藤宣之氏をお招きし、「マイナスから

出発し、さらに成長させたその実践策を開示し経営破綻した会社をいかにして再建したか」というテーマでご講演いただきます。そして、第3分科会では「日本人と歌舞伎の関係」というテーマで、俳優・歌舞伎役者である坂東三津五郎氏にお話しいただきます。また、今回は、統一研修会の懇親パーティーは行わずに、MJS主催で「創立35周年記念パーティー」が開催されます。皆様と一緒に祝いをしたいと思っております。

恒例の懇親ゴルフ大会は翌日の9日(金)に「東京よみうりカントリークラブ」で開催いたします。日本シリーズが開催される由緒あるコースで、互いのゴルフの技を競い合ってみてはどうでしょうか。また、記念旅行は(11月9日~11日)は「東京・横浜・鎌倉をめぐる旅」を企画しております。

本大会に多数の先生方、ご家族、職員の皆様に参加されることをお願いし、東京における本大会の成功を祈念いたします。また、全国の先生方とお会いし、ご歓談できる日を楽しみにしています。

第37回全国統一研修会・東京大会「記念旅行」案内

「東京新名所と歌舞伎鑑賞
& 横須賀・鎌倉を巡る旅」

★充実した観光スポットの中から、見所を厳選してご紹介します！

新旧の日本一のタワーを比べて楽しむ

今回の旅行では話題沸騰の東京スカイツリーと旧東京のシンボル東京タワーという新旧の日本一のタワーを巡ります。東京スカイツリーの634mという高さは自立式鉄塔としては世界一で、「634」という数字は旧地名である「武蔵」に由来しています。展望デッキは最高350mで、展望回廊は450mと圧倒的な高さから東京を見渡すことができます。対する東京タワーの高さは333m、特別展望台が250mです。展望台からの眺めを比べてみるのも一興です。



タワーのデザインも注目です。パリのエッフェル塔にならって造られた東京タワーに対して、東京スカイツ



リーの形は実にユニーク。足元付近は三角形なのに高さ約300m付近から円形になっているのですが、これは敷地面積の狭さが関係しているとのこと。また、東京スカイツリーは日光東照宮五重塔の心柱制振を参考にし、中心部に大きな心柱を通した造りになっており、あらためて日本の伝統技術の素晴らしさに感心されることでしょう。

ディナークルーズ「マリナールジユ」で最高の夜を

入港船舶数全国1位を誇る横浜



港は、美しい夜景を楽しむ絶好のスポットでもあります。今回の記念旅行ではそんな横浜港をクルージングしながら、最高の食事を楽しんでいた

できます。山下公園、みなとみらい21、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋など、横浜の名所の「夜の顔」に魅了されることでしょう。

下町・柴又で「寅さん」の足跡をたどる

映画『男はつらいよ』の舞台として知られる柴又。主人公の車寅次郎の故郷であり、東京を代表する下町のひとつです。駅前には寅さんの銅像が建てられていて、ここが寅さんの町だということを感じることができます。



寅さんの口上のひとつに「帝釈天で産湯をつかり」というのがありますが、その帝釈天はこの柴又の代表的な寺院のひとつです。ここでは是非見ていただきたいのが、帝釈堂内殿の外部にある見事な装飾彫刻です。「彫刻ギャラリー」として法華経に説かれる代表的な説話10話が視覚化されています。

帝釈天の先には寅さんファンにはたまらない「寅さん記念館」もあります。実際に使われていたセットや衣装を見て、寅さんの人情世界に浸ってみてください。

歴史ある「横浜ニューグランドホテル」「帝国ホテル東京」

今回の宿泊先であるふたつのラグジュアリーホテルにも期待していただきます。



1泊目の横浜ニューグランドホテルは横浜を代表する老舗ホテル。横浜のシンボル、山下公園の真向かいに位置し、その美しい眺めを楽しむことができます。また、終戦後にはマッカーサーが滞在していたことでも有名で、その他にもチャップリンなどの世界的なスターたちが宿泊してきたそうです。



2泊目の帝国ホテル東京は1890年に「日本の迎賓館」として開業。当初はドイツ・ネオルネッサンス式の煉瓦造り3層構造でしたが、大正時代にフランク・ロイド・ライトの設計でリニューアル。その後、1970年に再度リニューアルをはたし、2005年には「フランク・ロイド・ライト・スイート」も新設されました。是非ともこのふたつのホテルで記念旅行ならではの贅沢なひと時を満喫してください。

※旅程については、同封の統一研修会案内の行程をご覧ください。

「日本のヘソ」で ITスキルを活用しながら 「自己実現」ができる事務所を目指す!!

事務所訪問

芦田総合会計事務所の皆さん



あしだ 芦田総合会計事務所

広告代理店勤務を経て 地元・西脇で事務所を開業

「事務所は西脇市ですが、お住まいは丹波市だそうですね。」

芦田 生まれが丹波市で、今も丹波に住んでいます。大学は神戸だったのですが、卒業後は大阪の広告代理店などを経て西脇の会計事務所に勤務し、資格取得後に西脇に事務所を開業しました。今は車で50分ほどかけて事務所に通勤しています。ちょっと遠い感じはしますが、やはり山がたくさんある地元の風景を見ていると落ち着きます。その反面海への憧れは強いですね。

「広告代理店時代はどのような仕事をされていたのですか。」

芦田 もともと人と触れ合える営業職に興味があったので、広告代理店

東経135°、北緯35°の交差点があり日本列島の中心に位置することから、「日本のヘソ」と言われる兵庫県西脇市。芦田裕三先生（46歳）はその北隣の兵庫県丹波市に生まれ、現在はこの西脇市に事務所を構えられています。古くは播州織の街として知られた西脇ですが、今はどのような状況になっているのでしょうか。芦田先生のお仕事ぶりとお話して聞きました。



住所／〒677-0015
兵庫県西脇市西脇 885-39

※ 9月初旬引越より新住所に移転
新住所／〒677-0044 西脇市上野 104-1

TEL：0795-25-2531

FAX：0795-25-2532

設立／2001年

職員数／4名

導入システム／ACELINK NX-Pro

<http://www.asida.com/>

でも営業の仕事をしていました。大手紙からスポーツ紙まで、いろんな新聞の広告営業を担当し、時にはみずから取材をし、写真を撮影したり、キャッチコピーを考えたりすることもありました。どのような店構えやディスプレイが人の心に響くかを真剣に考え、それは今でもお客様との会話において非常に役に立っています。——どうして税理士を目指すことにしたのですか。

芦田 人と話すことが大好きなので、広告代理店の仕事を続けたかったのですが、長男でしたので、いつかは地元に戻らなければと、税理士を目指すことにしたのです。大阪の会計事務所などでアルバイトをした後に、地元の会計事務所まで正規職員として働きました。



顧問先に IT 活用法を伝えている蘆田裕三先生

―実際に働いてみてどうでしたか。

蘆田 最初の頃は外回りが多い営業マンのほうが好きと感じていましたが、仕事を続けていくうちに会計事務所の仕事にもおもしろみを感じるようになりました。仕事内容に関しては、所長が仕事を任せてくれるタイプの方だったので、早い段階で顧問先の決算から税務申告まで一通り実務経験を積み、査察事案等も含め様々な経験をさせていただきました。

―地元の丹波ではなく、どうして西脇で開業したのですか。

蘆田 勤務時代のご縁もあったので、西脇に事務所を開業することになりました。それに、丹波よりも西脇のほうが事業所数も多いですし、住む所と仕事を分けたという思いもありました。

―顧問先はどのように増やしていかれましたか。

蘆田 開業以来営業活動はほとんどできていませんが、顧問先や金融機関、保険会社さんのご紹介で、徐々に顧問先は増えていきました。地域的には西脇と丹波がほとんどですが、南は神戸、姫路から、北は宮津にも顧問先があります。また、顧問先からのご紹介で島根にも顧問先ができました。さすがに滅多に訪問することはできませんが、iCompassを活用しながら連携を取るようになっており、非常に役に立っています。

セミナーやホームページ ―ITの活用法を発信

―西脇といえば播州織の産地として有名ですが、顧問先の中にも播州織関係の事業者はありますか。

蘆田 顧問先の多くが私と同世代の40代、50代の経営者ということもあって、昔ながらの繊維業の事業者はほとんどありません。顧問先の業種は、建設業から病院まで多岐にわたっています。また、昨年度より介護事業に特化し、来たるべき高齢化社会にそなえ、志の高い介護事業所様の経営支援にも力をいれています。

―西脇といえば、「日本のヘソ」というキャッチコピーで知られています。が、住民の方もそのあたりは意識されていきますか。

れていますか。

蘆田 「へそまんじゅう」や「おへそさま」といった名前のせんべい等の商品が開発されるなど、「日本のヘソ」であることを活かそうという動きは出ています。デザイン関係の顧問先もそういったキャッチフレーズを生かした商品PRを展開しています。

―ITコーディネータの資格も取得され、時折、地域でIT関係のセミナー講師なども務められていますね。

蘆田 先日はソフトバンクの代理店をしている事業者と提携し、タブレットに関するセミナーを開催しました。実はその頃は当事務所もスタッフ全員にタブレットを配布したところだったので大変参考になりました。現在ではタブレットでスケジュール管理やメール、顧客との対応履歴の共有、業務報告書、日報などを行っています。外出時に手軽に使えるので非常に便利です。所内のペーパレス化にも拍車をかけています。また、そうしたノウハウについては、お客様に紹介し、お互いに情報交換できるようにしています。

―最近はどういうような相談が多いですか。

蘆田 資金繰り、事業承継、しっかりとした経営計画を立てたいなどの前向きな相談が増えているように思います。厳しい時代ではありますが、

経営者がそのように前向きな姿勢を持つているところはかなりの確率で売上げを伸ばされていると感じています。―具体的に伸びている事業者の事例をお聞かせください。

蘆田 たとえば、商社とうまく連携をとりながら、独自の商品開発を行っているアパレルメーカーがあります。これからの時代はやはりこういった独自性を打ち出しつつも製販の協業体制を構築していくことが重要だと思

税理士までの道のり

「大学を卒業した頃は、まだバブルが崩壊する前で金融業界が華やかかなりし頃でした。同級生の多くは銀行や証券会社に入社していましたが、私はメディアの世界に憧れて広告代理店に入社しました」と蘆田先生。その後、実家に戻ることを決意した蘆田先生は学生時代に会計学を学んでいたことを思い出し、税理士を目指することに。当初は大阪の税理士事務所などでアルバイトで経験を積みながら試験勉強に励み、その後、地元に戻って同級生の父親が経営する事務所で働きはじめました。そして、その6年後に資格を取得し、5年ほど事務所勤務を続けた後に独立しました。

います。主要産業である播州織に関しては依然として厳しい状況ですが、商品価値自体は非常に高いと思うので、独自性を打ち出すことで突破口を開くことができると信じています。

気仙沼の失業者を受け入れるなど被災地支援にも積極的

—MJSのシステムはいつ頃から使用されていますか。

蘆田 開業当初から使用しています。勤務していた事務所は別の会社のもので使用していたのですが、開業時に営業に来てくださった方との縁でMJSのシステムを導入しました。正直、当時は「システムに関してはどこでも一緒かな」と思っていました。実際に導入してみると、前の事務所で使っていたものよりも使い勝手が格段に良かったので非常に満足しています。

また、MJSの電子申告システムには非常に助けられました。当時、私は税理士会西脇支部で電子申告の推進を担当しており、事務所でも平成16年から電子申告に取り組んでいるのですが、MJSのシステムは他社のシステムに比べて使いやすかったのがスムーズに電子申告を進めることができました。これからも常に時代ニーズに対応した製品開発に期待した

と思っています。

—ミロクの全国統一研修会には毎年参加されているそうですね。

蘆田 はい。所内恒例行事となっています。皆が楽しみにしており全員で参加しています。そして研修の翌日から皆で計画を立てた慰安旅行となります。行きたいところが多すぎてレンタカーを酷使し強行軍になることもしばしばです。

—ところで、東日本大震災の後、一時的に気仙沼の方を職員として受け入れていたそうですね。

蘆田 震災後、たまたま気仙沼市役所の職員さんとフェイスブックで知り合いになったのが縁で、気仙沼で仕事を失った方を数カ月手伝ってもらいました。事務所でもちょうど臨時に人を探していた時期だったので、渡りに船といった感じだったのです。また、あえて未経験者を受け入れたのは、会計経理の知識を身につけると同時に経営者感覚も養ってもらい、宮城県に戻ってその力を東北の復興に役立ててほしいという思いもありました。急遽採用をきめたのですが、ミロクさんには快くライセンスの増設等迅速に対応いただきスムーズに仕事にかれました。結果、その方はとても良い仕事をしてくれたので引き止めたいくらいでした。これからも雇用にか

ぎらず、あらゆる面で被災地支援を続けていきたいと思っています。

—今後の抱負についてお聞かせください。

蘆田 特に事務所を拡大したいという考えは持っていません。それよりも職員一人ひとりが少しでも良い経験を積み、自己実現ができるような環境づくりを目指したいと思っています。また、今は私が中心になって仕事をしていますが、我々が造り上げた風土に次の世代が新しい風を吹き込み、時代に合った環境づくりをし、お客様に良いサービスを提供していつほしいと思っています。もちろん法人化も視野にしています。全員が納得して元気に働きここで仕事してきて良かったと思えるような事務所、また各顧問先様が継続的に繁栄され、こと付き合つて良かったと思つていただけるような事務所をつくっていききたいと思っています。

—自己実現という点で、先生自身はどのような夢を持たれていますか。

蘆田 先にも言いましたが、かかわった皆が幸せになれるような夢の創造空間をつくりたいと思います。そして皆が切磋琢磨し仕事とプライベートにおいて自己実現をはかり、ハッピーライフができるような組織をつくりたいと思っています。また私はスタッフをはじめ周りの人々にはいつも非常に

恵まれています。そのおかげで今日があるといつても過言ではありません。だから、家族・スタッフ・お客様をはじめ周りの皆様とともに刺激・成長しあうなかで、皆が幸せになっていくことが夢です。小さなところでは数年前からはまっているフルマラソンで早く4時間を切り、次のステージへ挑戦したいですね(笑)。学生時代には野球と陸上と競技スキーをしていたのですが、今はその時の自分の背中を追いかけているような気がします。—マラソンで鍛えた精神力も仕事の大きな支えになりそうですね。これから地元企業の発展に尽力してください。本日はありがとうございました。



事務所風景

地元の元氣企業

(株)高津商会

本社/〒616-8163
京都市右京区太秦西峰岡町13-1
Tel 075-882-7866
http://www.kouzujp/

「映画道具」のプロフェッショナル集団が 甲冑などの時代劇衣装を一般向けにレンタル!!

映画の撮影所があることで知られる京都・太秦。(株)高津商会はこの地で「道具屋」として映画産業を支え続けている老舗企業だ。その技術やノウハウもさることながら、最近では一般向けに時代劇衣装の貸し出しを行うなど、新たなビジネスを展開しているという。その社歴とともに同社のイノベーションの内容を紹介したい。

映画道具の制作・貸し出しを行っている(株)高津商会。その創業は大正7年(1921年)にまでさかのぼる。現在、代表取締役を務める高津博行社長(60歳)によると「当初は京都市上京区一条御前下で創業した『高津道具店』という普通の道具屋だった。それが撮影所からの依頼で小道具を貸し出すようになり、次第に今の業態に近づいていった」そうだ。その後、撮影所が太秦に集約されていったのを機に、同社も太

秦に移転。時代劇用の衣装や道具の貸し出しを専門に行うようになるのと同時に、オリジナルの衣装や小道具の製造も行うようになっていったという。



武田信玄の甲冑をまとった高津博行社長。一昨年12月からは一般向けにも時代劇で使用された甲冑や衣装を貸し出している

オリジナルの道具を作る場合は、道具そのものの美しさや造詣はもちろん、時代考証が重要になってくる。「衣装や小道具にしても、その時代に存在していたのかどうかを検討しながら仕事を進めていく。また、平

安時代のように資料がほとんどない時代の場合は、想像力を膨らませながらリアリティのある道具を作つていかなければならない。そのあたりのノウハウが当社の強みだ」と高津社長は胸を張る。その功績は映像業界でも認められており、03年には日本アカデミー賞協会特別賞も受賞している。

テレビが普及するようになると、同社の活躍の場はテレビ業界にも広がっていったが、映画とテレビではその仕事微妙に異なってくるという。「映画の場合は道具を用意する

だけで、装飾(道具の飾り込み)を行うことはないが、テレビの場合は装飾まで手掛けることがある」と高津社長。また「映画とテレビとは画面の大きさが異なるので、映り方によっては道具の作り込み方を変える必要がある」そうだ。

まさに独自の仕事を展開する同社だが、いまや映画産業は往年の勢いを失い、徐々にその市場規模は縮小、テレビの時代劇に関してもレギュラー物がなくなりつつある。「単発

のテレビドラマやウェブドラマ、CMなどのおかげで、貸し出しの件数自体はそれほど変わらないが、やはりひとつひとつの製作規模が小さくなっている」と高津社長は嘆く。そこで、同社は30年以上前から時代劇衣装を各地のお祭りや催し物に貸し出すといった事業を展開、金沢市の「百万石祭り」や福井市の「福井越前時代行列」などに甲冑などを貸し出している。

また、一昨年12月からはこの事業をさらに拡大し、「武将になろう」というキャッチコピーで観光客に甲冑などを貸し出すことに。「好きな時代劇で、憧れの俳優が着ていた甲冑を着ることができると評判は上々で、すでに「全国各地から体験に訪れてくれている」と高津社長。また、子ども用の甲冑も用意しているので、七五三などのイベント時に利用されることも増えているそうだ。なかには「名古屋の人が結婚式の披露宴で甲冑を来たい」といったオーダーもあつたというからおもしろい。また、最近では外国人観光客が訪ねて来ることも多いそうだ。

自社の強みを活用して、新たな市場を開拓している高津商会。まさに映画の街、京都ならではの元氣企業だ。

ペーパーレスに取り組んで2年 さらに所内業務の効率化に取り組んでいます!!

平成21年開催の「全国統一研修会in鹿児島」の第1分科会で自ら事務所のペーパーレスへの取り組みを発表し、その後も積極的に事務所内の業務効率化に取り組んでおられる立花税理士事務所。その取り組みについて、立花剛所長にMJS神戸支社の岸秀行支社長が聞いてみた。

岸支社長（以下敬称略）「60

歳からはじめるペーパーレス」をテーマに統一研修会の第1分科会で事例発表をされてから2年が経ちましたが、その後もペーパーレスは進んでいますか。

立花所長（以下敬称略）理想の70%くらいできているかと思っています。私がペーパーレスに取り組んだきっかけは、情報ネットワーク委員会の中で、東京会の吉村博一先生からペーパーレスにすれば、業務効率が120%に向上すると聞いたからです。吉村先生の事務所ほどはできていませんが、事務所に見合った範囲で行えれば良いと思っていますので、私がこうしたいというレベルまで

は進んでいます。

岸 すべてペーパーレス化しなくても効果はあるということですね、

立花 徹底的に紙をなくすのもひとつの考えですが、私は紙を二部残すことがあっても良いと思っています。「電子申告」になり、印鑑は必要なくなつたのですが、やはり印鑑を押さないと気が済まないという方や、顧問先によつては紙でほしいという所もあります。それぞれの事務所の事情にあったペーパーレスを進めることが成功するポイントだと思います。

ペーパーレスは理想の70%だが事務所内の効率化は達成

岸 理想の70%まで来たとのことですが、残りの30%はどのような点ですか。

立花 やはり、データの保存方法に悩みます。顧問先のデータは顧客ご

とに管理すればいいことですから難しくありません。しかし、それ以外の研修資料や保管すべき資料などはテーマが様々なので、すっきりと分けきれない部分があります。そこが残りの課題です。今後もしろいろな先生方の話を参考に残りの30%に取り組みます。

岸 職員の方はペーパーレスに慣れましたか。

立花 まだ紙で残している職員もいます。「データ保存しているから紙は捨てろ」と言うのですが、捨てきれずにいるので、黙っている紙の資料が溜まつてしまいます。決算時にすべてデータが私の手元にきますが、印刷は極力少なくして、印刷した資料もスキャンした後は破棄するよう指示しています。その結果、紙の消費量は半分になりました。

岸 コストと作業効率の改善のどちらに効果が出ましたか。

立花 コストは確実に削減できています。作業効率に関しては、職員はダブルモニタを利用することで、紙に出力する手間なく業務を終えています。当初は紙でないとチェックしづら



MJS神戸支社
支社長 岸 秀行

言わせると、通帳と元帳を見比べるとき、次のページがボタンひとつで呼び出せるし、画面を見やすいようにスクロールできるので便利に感じているようです。効率の面では、私がネットワークになつていようです。どうしても紙で確認したい部分があり、ついつい印刷してしまいます。私がパソコンを使いこなして、確認したい資料を画面にさっと出すことができるようになれば、もつと効率が良くなるでしょうね（笑）。

ペーパーレスも電子申告も推進するからには自らが

率先して行わなければならない

岸 最近は電子申告をきっかけに

ペーパーレスに取り組む事務所も増えています。

立花 情報ネットワーク委員会では電子申告の推進に積極的に取り組んできました。電子申告がある程度普及すると、電子申告後の書類の保管が問題となり、事務所のペーパーレス化が課題になりました。電子申告もペーパーレスも人に勧める以上は責任をもつて、私自身の事務所が取り組まなくてはという思いでここまでできました。

電子申告といえば、昨年末に「ACELINK NX-Pro」に入れ替えしました。「ACELINK Navi」より機能がかなり良くなりましたね。国税と地方税の電子申告データが一度に作成でき、法人税と消費税の申告書も同時に作成できます。「ファイリング」システムも導入し、現在は「DocuWorks」と双方を利用しています。今後はそれぞれの特色を活かして使い分けていきたいと思っています。

岸 電子申告以外のシステムはいかがですか。

立花 まだ慣れていない部分もありますが、使い勝手の良い部分が多いように思います。個人の確定申告に間に合うように12月に導入しましたが問題なく移行できました。職員

の中には、すでに「ACELINK NX-Pro」に慣れたため、以前の「ACELINK Navi」を操作するときにマゴつく人もいます。職員の中には、良く使用するメニューを「お気に入り」に登録するなど工夫を凝らしています。他にも切替タブで処理を終わることなく次の処理が選択できるため、ダブルモニタを使っている私の事務所では大変重宝しています。

岸 複合機や文書管理システムなどコストもずいぶんかかっていますが、採算はとれたと感じられますか。

立花 厳密にコスト管理はしていませんが、元は取れていると感じています。以前は印刷とコピーにしか使用していなかった複合機ですが、最近はスキャンを利用するようになり、コピー機能はほとんど使用しなくなりました。そのため、コピー機能の使い方が分からなくなったという職員もいるくらいです。これもペーパーレスが所内に根付いてきたからでしょう。

タブレットやスマートフォンなどが業務に活用できるかに興味がある

岸 先生が今後、取り組もうと思われることはどのようなことですか。

立花 情報ネットワーク委員会では、若い先生方が新しい技術をどのように業務に取り入れていけるのかを

研究しています。私もタブレットやスマートフォンなどが税理士業務にどのように活用できるのかに興味があります。先日委員会の中で、通帳や領収書などはタブレットで写真に撮ってくるという話を聞きました。拡大などの操作も指ひとつで簡単にできますから、小さなスキャナを購入するより便利だなと思いました。しかし、入力端末としてはあまり効率的に使えないという話も聞きました。

岸 委員会活動の中でいろいろいと刺激を受けているということですね。

立花 若い先生方の考え方だけでなく、同年代で積極的に新しい考えを取り入れる姿勢などが勉強になります。過去2回、ペーパーレスと顧問先サービスをテーマとした小冊子を発行しましたが、これからもMJSをご利用の事務所の方々に参考としていただける情報を発信していきたいと思っています。

岸 今後、新しい技術をどのようにに事務所業務に活かそうと思われれますか。

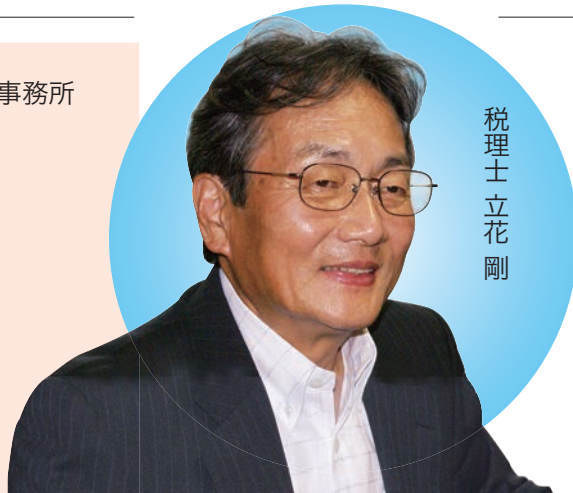
立花 都会と違い、この土地では顧問先に事務所に来てもらうというのが基本スタイルでしたが、最近はインターネットやリモートツールを利用して遠隔地でも近場の顧問先と同じような対応が可能です。今後はこのようなツールを新たな顧客開拓や顧

問先へのサービスに繋がっていききたいと思っています。そのためにはMJSにはより良いシステムの使い方や活用方法についての研修会を継続してほしいと思います。

岸 今後も先生方の業務に役立つ情報をご提供していきます。本日はありがとうございました。

※1：吉村博一税務会計事務所（東京都中央区）

税理士 立花 剛



取材事務所：立花税理士事務所
所長：立花 剛
〒678-0202
兵庫県赤穂市山手町 3-3
TEL：0791-42-2262
利用システム／
「ACELINK NX-Pro」

我が事務所の顧問先紹介

三木楽器株式会社は日本有数の総合楽器店。大阪・関西を中心に楽器店を7店舗・音楽教室を43会場展開するほか、音楽イベントの企画・制作など関連事業も幅広く手掛ける。また、創業から187年の歴史を持つ老舗企業でもあり、日本最古の楽器店としても知られている。今回はその長い歴史や直近の展開について、税理士井上暎夫事務所の井上暎夫所長が古山昭社長に訪問インタビューした。

井上所長(以下敬称略) さっそくですが、御社の創業についてお聞かせください。

古山社長(以下敬称略) 江戸時代の文政8年(1825)に書籍業「河内屋佐助」として創業しました。

井上 文政8年といえば、11代将軍、徳川家斉の時代で、異国船打払令が発令された年ですね。この時代の書籍業とはどんなものだったのですか。

古山 中国から書籍を輸入して、貸本屋のようなことをやっていたようです。

井上 では、楽器を扱うようになった時期とそのいきさつを教えてください。

古山 明治21年(1888)に楽器部を創設し、ヤマハオルガンの販売を

開始しました。前年の明治20年にヤマハ株式会社の創業者山葉寅楠氏が日本初のオルガンの製作に成功し、その取り扱いを依頼されたのがきっかけだったと聞いています。



井上所長(左)と古山社長(国登録文化財本社社屋の前で)

井上 その後の変遷をお聞かせください。

古山 大正15年に合名会社「大阪開成館三木佐助商店」と改称し、昭和31年に「三木楽器株式会社」に改組しています。

井上 187年という長い歴史のなかでは、様々な紆余曲折があったのではないですか。

古山 昭和50年代に倒産の危機に直面しました。このところの経緯については、井上先生がよくご存知ですよ。

井上 私が三木楽器とかかわりを持つようになったのは、三木楽器がヤマハの大きな販売店だったため、ヤマハから再建案をつくってくれと頼

採用したりする「大企業病」にかかってしまったのです。

古山 その時にほとんどの経営陣が退任してしまいました。その危機に、残って陣頭指揮にあたったのが、近代の中興の祖とも称される中嶋進さんです。中嶋さんが監査役から専務になり、大改革を断行されたのです。

井上 最終的に8億の負債に陥り、合名会社との合併、固定資産の売却や販売店の閉鎖などで処理したのですが、すべては処理しきれず2億の債務超過から再出発することになってしまいました。その状態から15年で自己資本が10億になったので、V字回復を遂げたと言つていいと思います。

古山 中嶋さんの英断のエピソードとして、当時国内出荷数がピークを迎えていた音楽CDの販売から撤退したことがあります。売れ筋のCDには抱き合わせのCDがつきものです。返品もできず、不良在庫が財務を圧迫していました。他の経営陣には反対されましたが、見事に断行されました。

井上 そうでしたか。ところで現在、音楽教室を43会場と積極的に展開されていますね。

古山 お子様対象の教室で8000名、大人対象の教室で5000名の生

徒さんにご利用いただいています。お子様の教室には親と一緒に参加することが条件ですので、延べ1万6000名になります。大人の教室と合わせてなんと2万1000名の方が毎週通われていることになります。

井上 なるほど。では、今後の展開についてもお聞かせください。

古山 これから少子化による購買人口の減少、技術革新による単価の低下、競合による利益の低下が起こると考えています。その打開のためには、これからは物販以外の売上げを大きく伸ばすことが必要です。そのために年間250回以上のイベントを開催していますが、それをどう収益に結び付けるかということ、そしてこれまでの歴史で培ってきた社内インフラをどう生かすかが課題だと考えています。幸い株式を上場していませんので、中長期のスタンスで物事を考え、新規事業などに投資することができています。

井上 高校・中学校軽音楽系クラブコンテストを開催されているのもその投資の一環ですか。



イベントも行う心斎橋店

古山 産経新聞社と共催している「We are Sneaker Ages」というコンテストがあります。79年から開催し、今年で33回を迎えます。近畿地区を中心に130校以上のクラブが参加し、応援も含め1万5000名が集まる大規模な大会で、「軽音楽部の甲子園」とも呼ばれています。過去31年間は赤字でしたが32回目は黒字になりました。全国展開としてはどうかという話もありますが、大半のスタッフは本業との兼務でやってくれているイベントですので、この内容を維持するにはこれが

限界だと考えています。

しかし、今年は「^{※1}こどもの音楽再生基金」からの要請がありました。東日本大震災で被害にあった学校に、備品の点検・修理・補修を実施している第一次活動に続く第二次活動の一環として、宮城、岩手、福島三県の中学校、高等学校の音楽系クラブを参加対象とした

イベント「School Music Revival Live」として開催します。三県の中学校、高等学校の様々なジャンルの音楽系クラブが参加し、音楽を楽しむ同世代の仲間の演奏やパフォーマンスをみんなで楽しめようとしています。

井上 そういった活動の原点にはどのような精神があるのでしょうか。

古山 4代目社長の三木佐助の「お金ではない一見無駄なことをどこまでやれるかが経営の指標」という考えを継承していきます。この会社の経営を任せられた時、数字だけを見ると、この会社は本当に大丈夫かなと思いましたが、内容を知るにつれて、他社がマネできない「社風」や「人財」という考え、「歴史的余力」とあると感じるようになりました。これからのこの資産を有効に活用する経営を目指していきます。とはいえ、同じ仕事だけではマンネリに陥ってしまうので、他業界との付き合いも大事にしていきたいと思っています。たとえば、吉本興業様の100周年事業にも音楽で接点があり、協力させていただいています。

井上 本日はありがとうございます。これからも大阪・関西を元気にできるように引っ張っていただきたいと思います。

※1. 東北大震災の復興支援の一環として、音楽家の坂本龍一さんが発起人となつて立ち上げた基金。被災地の幼稚園・小・中・高校に対して楽器関連の復興及び音楽活動の支援を行うことで、未来ある子どもたちに音楽と楽器の力で笑顔を届けることを目的としている。

井上先生について

古山 現在は監査役として取締役会にも出ていただいています。何しろ当社の危機を救われた方ですし、歴史をよくご存知ですから、忌憚のない意見をいただける、貴重な相談相手として、大変助かっています。

■訪問事務所概要

事務所名…井上映夫税理士事務所
所長…井上 映夫
住所…〒541-0058
大阪府大阪市中央区南久宝寺町3-1-8本町クロスビル3F

TEL…06-6243-0800

■紹介顧問先概要

社名…三木楽器株式会社
創業…文政8年(1825)

創業者…初代 三木 佐助

設立…昭和31年(1956)12月1日

代表者…代表取締役社長 古山 昭

住所…〒541-0057

大阪府大阪市中央区北久宝寺町3-3-4

TEL…06-6252-0431(代表)

事業内容…楽器・楽譜の販売、音楽教室の運営、音楽イベントの企画・制作、楽器修理、ピアノ調律ほかアフターサービス、音響・防音工事ほか音楽・楽器関連事業全般。

ご当地自・慢

大阪府・大阪市

案内人／植田卓税理士事務所

植田卓 所長

大阪文化は、本音の突き出た「コテコテ文化」といわれますが、それは、江戸が武家文化に導かれ、京都が公家文化に導かれたのに対して、大阪は浪花の時代から商人と庶民によって文化が形成されてきたことに由来すると思います。今号では、近畿ミロク会計人会大阪地区会の仲間とともに大阪の街を、あちこち散策しながら、大阪文化の魅力をご様に紹介いたします。

徒歩1分で抜けられる

日本一短い商店街「肥後橋商店街」

まずは集合場所の肥後橋駅前（大阪市営地下鉄・四つ橋線）から程近い、「肥後橋商店街」を訪ねます。この商店街は日本一短くて、その長さはずか約79メートル、アーケード入口の立派な装飾に対して、徒歩1分、走れば20秒ほどで抜け切れる対比が何ともいえません。なお、日本一かどうかは自称のようで、何事も「言った者勝ち」の大阪文化を代表する例といえましょう。



肥後橋商店街

さらに、近くには「筋違橋」という珍しい橋の跡があります。ここにはかつて西横堀川が流れており、川で分断されていた道が少しずついたために斜めに架けられていたそうです。

肥後橋商店街を抜けたら淀屋橋、北浜、中之島方面へ向かいます。このあたりは世界で最初に先物取引を始めるなど、江戸時代に「天下の台所」を築き上げた商人文化の中心地で、庶民のコテコテ文化とは一線を画しています。



愛珠幼稚園園舎

まずは大阪市立「愛珠幼稚園」です。ここは明治13年に創設された大阪で一番古い幼稚園で、日本でも3番目に古く、歴

史を感じさせる木造の佇まいは、国の重要文化財に指定されています。

この近くに

は、蘭学者・医学者の緒方洪庵が江戸時代後期に開いていた「適塾」が当時のまま残されており、国の重要文化財に指定されている建物の内部は、今も見学することができます。適塾は現在の大阪大学医学部の前身であり、江戸末期の動乱期に医学を志した若者たちがどのような環境で学んだのかを感じることが出来ます。



緒方洪庵像

この周辺には、薬屋街で知られる道修町や繊維街の井池など古くからの問屋街があり、今も、明治期から大正期、昭和期に建てられた商家や商業ビルを見つけることができます。特に、木工用ボンドで知られる現・コニシ株式会社が、1870年の創業時に建てたという木造の旧社屋は、内部を見学することはできませんが、外観から昔の町並みを想像することができます。

総延長約2.6キロ、約600軒が並ぶ日本一長い商店街「天神橋筋商店街」

さて、今度はふたたび商店街へ。先ほどとは打って変わって、日本一長

い商店街「天神橋筋商店街」を歩きましょう。この商店街の総延長は約2.6キロ、約600軒

の商店が軒を連ねており、天神橋1丁目を天一、同じく天一、天三といった具合にブロックが分けられ、どういうわけか先に行けば行くほど、通行人が増えていくのに、道幅は逆に狭くなっていく、最後は知らない者同士が肩を触れ合いそうに歩く様子は、これぞ活気ある商店街を歩くという充実感に浸ることができます。

また、商店街の近くには「大阪天満宮」があるので、お参りしていきましょう。ここには学問の神様として知られる「菅原道真」が祀られ、毎年7月24日、25日に催される「天神祭」は1000年以上の歴史があり、汗をかきながら人混みと共に陸渡御や船渡御を見物するのもいいものです。



大阪天満宮



天神橋商店街

大阪天満宮の裏手には「天満天神繁昌亭」という寄席があります。06年



天満天神繁昌亭

に上方落語協会がくつた寄席で、落語会のほか、色物や上方落語入門講座なども催されています。なお色物とは、マジックや大神楽など落語以外の芸のこと

で、くれぐれもお間違えのないように。
ここですたん「天神橋筋商店街」に戻って、しばらくしてまた脇に入りますと、江戸時代から続く「天満市場」があり、生鮮食品や乾物などがズラリと並んでいます。本館は最近ビル化されましたが、周辺は戦後の闇市のようなゴテゴテとした雰囲気が残っています。



天神橋商店街にあったコテコテの看板

大阪文化には「目立ってナンボ」と

いう基準があり、目立たなければ生き残れません。たとえば天六にある定食屋さんの「飽きがくるほどアゲガデカイ！けつねうどん」「下品なくらいにダシが濃い！ダシで勝負！」という何とも「大阪らしい」看板はイヤでも目を刺します。

昔ながらのたこ焼きを味わえる老舗たこ焼き屋「うまい屋」

少し小腹が減ったので、大阪名物「たこ焼き」を食べましょう。目指すは昭和20年代から親子孫三代にわたって続く老舗の「うまい屋」。店の中で食べることもできますが、メニューはたこ焼きのみ。店の上に掲げられたダイナミックにタコが描かれた木製看板にもご注目ください。



たこ焼きの「うまい屋」

ここのたこ焼きはだし汁がシッカリと効いており、ソースをかけなくても美味しくいただけます。しかも、1回焼いた後に、まだだし汁をかけて焼き上げるので、中までシッカリと火が通った食べ応えのある食感が特

徴です。買い物客の行列がいくら長くなっても、焼き上がるまで妥協せず客を待たせる姿勢は、こだわりの感じさせます。

大阪の食文化には、たこ焼きやお好み焼きなどに代表される粉物（こなもん）というジャンルがあり、それぞれの店が独自性を出していますので、ぜひ自分の脚と舌で自分好みの店を探してください。

曾根崎心中の文学世界を素肌で感じる「お初天神」

小腹を満たしたところで、キタの中心である梅田方面に向かいます。伝統の大阪文化といえば人形浄瑠璃。人形浄瑠璃といえば近松門左衛門。近松門左衛門といえば心中もの。というわけで、梅田駅近くの「露天神」を訪れます。この神社は「此の世の名残り夜も名残り 死に行く身をたとふれば、あだしが原の道の霜」で始まる「曾根崎心中」で堂島新地の女郎「はつ」と醤油商の平野屋の手代「徳兵衛」とが心中をした場所であり、一般にはむしろ「お初天神」と呼ばれています。

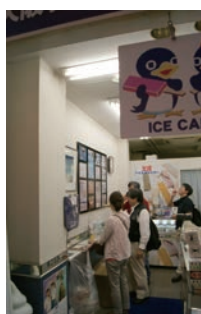
そんなわけで、この神社には永遠の愛を誓い合うカップルの熱い想いや、あるいは片想いを吐露する心情が書かれた絵馬がいっぱい掲げられています。

ミナミの「夏の味」

「北極のアイスクャンディー」

キタを代表する梅田界隈を散々歩き回ったので、今度は難波グラント花月などでお馴染みのミナミへ、御堂筋を市バスで向かいます。道頓堀バス停で降り、かの有名なグリコの看板や食い倒れ人形などを見ながら、心斎橋筋商店街に続く戎橋筋商店街に向かいます。この両商店街は大阪一伝統と活気がある商店街で、周辺のアメリカ村やヨーロッパ村も含め、年齢層を問わず、昼夜を問わず賑わっています。

人混みのなかを歩くのに



北極のアイスクャンディーで一休み

疲れたら、戎橋筋商店街の南端近くにある、ペンギンのキャラクターで有名な「北極」のアイスクャンディーをお勧めします。このお店は昭和20年に創業して以来、一貫して手作りのアイスクャンディーにこだわり続けています。平たい棒ではなく、割り箸の片割れのような棒を斜めに刺した姿が特徴で、「ミルク」「アズキ」「ココア」「パイナップル」など8種類の味が楽しめます。なお、シウマイや豚まんで有名な551の蓬莱本店も近くにあり、お勧めです。

ディープサウスのシンボル「通天閣」で恐怖の「スカイウォーク」を体験

さて、このコテコテの大阪文化を巡る旅もいよいよ大詰めです。今度はさらにコテコテ度を求めて、ミナミからディープサウスの新世界へ向かいます。

ちなみに、ここへは乗るのに気が引けるくらいド派手な絵柄の無料送迎バスも走っています。

新世界は、明治36年に開催された



ド派手な絵柄の無料送迎バス



通天閣

そんな新世界に大阪のシンボル「通天閣」が聳え立っています。高さは

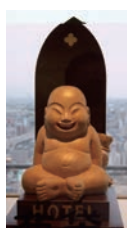
103mと、東京タワーの3分の1程度であり、東京スカイツリーには遠くおよびませんが、周囲の町並みのレトロさにマッチするためか、最近

は観光客が増えて休日には1〜2時間程度待たされるそうです。

通天閣の特徴を税理的に言えば、株式会社通天閣観光という民間会社の構築物が、公道それも市バスの走る交差点のど真ん中に建っていることでしょう。この会社の株式評価を

するにあたって、借地権はあるのかないのか、どうなのでしょう。

なお、通天閣の入場券は、自動販売機ではなく対面で買うことになっ



運を呼ぶ像 上ると国籍不
幸運を招く「ビリケン」
の神

が安置されており、その足の裏をかい

てあげると幸せになれると言わ

れます。

また、通天閣ではスカイウォークと

いうオプションも

あり、地上75mの

外周にある業務



通天閣スカイウォーク記念写真

男性参加者の中には縮み上がった人

もいたようです。なお、今はネオン改

修工事のため10月末まで営業停止中

ですが、再開されたら、我こそはと

思われる方は通天閣ならではのスリ

ルを味わってみるのもいいですよ。

遊郭の面影を残し続ける

飛田新地の料亭「鯛よし百番」

通天閣を後に、新世界の南東部に

位置する「じゃんじゃん横丁」(南陽通

商店街)へ。狭い路地の中には将棋会

所も数軒あり、いつも人だかりがで

きています。ここには伝説の棋士とい

われた坂田三吉が

通っていた会所も

あり、全国の将棋

ファンの聖地です。

このじゃんじゃん横丁を抜け切り、

飛田本通商店街、新開筋商店街を抜

けて飛田新地に向かいます。この界

限は「じゃりん子チエ」の舞台にラッ

プし、ジャージ姿で歩いたり自転車

で走り回るオジサンやオバサンの姿が



じゃんじゃん横丁



鯛よし百番

情は今も残ってい

ます。女性の一人

歩きは控えた方

がいいと思います

し、カメラはも

ちろん携帯電話、

スマホを周辺に向

けるのは危険行為といえるでしょう。

さて今日のウォーキングは、飛田

新地の奥にある「鯛よし百番」で締

めくります。このお店は大正時代

に建てられた遊郭「百番」をそのま

ま利用した料亭

で、そのキッチ

ュ度は他に追隨

を許さず、国の

登録有形文化財

にも認定されて

います。遊郭建

築は「吉原炎上」などの映画で見

ることはあっても、実物をそれも内部

も含めて見られる機会は非常に少な

いと思います。

今日は近畿ミロク会計人会大阪地区

会6名の仲間とともに、2万5000

歩ほど大阪の街を歩き回りましたが、

大阪のコテコテの魅力は伝わりまし

たでしょうか。是非ともこの記事を参

考に大阪を訪ねてみてください。



鯛よし百番での夕食風景

ご当地自慢 大阪府・大阪市



会計人の リレーエッセイ

近畿ミロク会計人会 梶田 靖子

未来の人へ

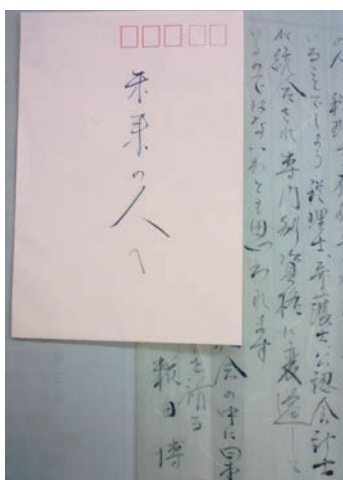
先日ある方が「大先生がタイムカプセルに入れておかれたものです」と言つて、ピンク色の小さな封筒を持つてこられました。

封筒の表には「未来の人へ」と父の字で書かれてありました。タイムカプセル??

いつたい何のことかさっぱりわからず、父に聞いても記憶に残っていなかったもので、その方にお伺いしたところ、平成6年頃にタイムカプセルと称する箱に入れて、地中に埋めたものだったそうです。もちろん父だけでなく親しい仲間で決めたそうですが、当初30年後に開封する予定をしていたのが、埋めていた場所が売却されることになったため、いたしかたなく掘り出したということでした。

あまりに子どもじみていて驚きましたが、何を書いていたのか興味が湧き、手紙を読んで見ました。

「此のボックスが開かれる頃には私は黄泉の



人：」からはじまる文章で(ちなみに父はまだ健在です!)、その後は税理士の存在、業務資格等の変革に思いを馳せているようでした。

当初の予定と違い、18年で箱を開けることになったわけですが、父が予想(?)していたように税理士界にも大きな改革の流れが押し寄せてきており「今から30年後は?」と思うと資格制度がどのように維持され、どのように改革されているのか気になるところです。資格制度だけでなく、社会情勢、経済情勢、自然環境等々、気になることはいっぱいありますが、未来の人に何を託したいのか、何を残したいのか考えるようになりました。

私は京都生まれの京都育ちですから、コンコンチキチンの祇園祭で夏がはじまり、大文字の送り火で夏が終わると思つて育ってきました。昨今は9月になつても30℃を越す真夏日が続く、終わらない夏とともに季節感が薄らいできているように感じます。

美しい四季とその季節の風物詩、そしてそういった情緒を楽しむ心を、未来の人に残したいと切に思います。

30年後、50年後、世の中の変化のスピードは想像もできませんが、そこにゆつたりと流れる時間があつてほしいものです。

未来の人へ限らない幸を祈ります。

表紙の写真

「箱館山」 (所在地：滋賀県高島市)

滋賀県高島市今津町の箱館山(690m)は冬期はスキー場で有名で、毎年、大勢のスキー客で賑わうウィンタースポーツのメッカです。転じて夏になると、250万輪のゆりが咲き誇るゆり園に人気が集まります。可憐なゆりの花とともに、琵琶湖に浮かぶ竹生島を眼下に眺めることができる絶好のビュースポットで、まさに表紙の写真にあるような景色を眺めることができます。



月刊 税理士事務所 Channel

通巻 372 号

- 発行／株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1
TEL. 03-5326-0304 (ミロク会計人会社事務局)
- 発行人／是枝 周樹
- 編集企画／ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会社事務局
- 配信制作／東方通信社
- 印刷／株式会社シナノ
- 購読申込／株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

Empowered by Innovation

NEC

大画面と、Windows® 7 が、心強い。

NECがおすすめするWindows® 7.



Windows® 7 Professional

マゼック
mazec 手書き文字入力

12.1 型大画面

軽量 約952 g

長時間駆動 約7.6時間



バーサプロ
VersaPro タイプVZ

○Windows® 7 Professional 32ビット with SP1 正規版 ○インテル® Celeron® プロセッサー 857 (1.20GHz) ○12.1型LED液晶、タッチパネル付(低圧電方式)XGA ○64GB SSD/128GB SSD選択可能 ○オンボード2GBメモリ(最大4GB搭載可能) ○無線LAN(IEEE802.11a/b/g/n) & X(クロックシイ) 対応ワイヤレスWAN(LTE)搭載可能 ○セキュリティチップ TPM(TCG v1.2準拠) ○タッチペン2本添付

タイプVZ

検索

企業のタブレット活用を、豊富なラインナップとソリューションで支援。

 **NECのスマートデバイス**

●Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面を使用しています。●Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Celeron、Celeron Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または登録商標です。●IXI、IXI クロソジイは、株式会社 NTT ドコモの登録商標または登録商標です。ビジネス PC は NEC **Mate & VersaPro**

<http://jpn.nec.com/>

人と地球にやさしい情報社会へ